

特別賞受賞作品の講評と各賞の入賞者

◆市長賞

作品名 消しわすれチェックボード

作者 津谷 珀翔さん(鷹巣東小4年)



講評：一人暮らしのおばあさんを心配したチェックボックスのアイデアが素晴らしい。帰宅したら鍵が収納され、外出の時にはチェックが完了してはじめて鍵が出てくる仕組みもよく考えられています。大事なことを3つに絞ってお年寄りにわかりやすく、見やすい絵や文字で描いています。

◆議長賞

作品名 水車

作者 齋藤 謙心さん(鷹巣南小3年)

講評：水の流れる力が水車を回すことによって発電の様子を、身の周りにある材料を使って再現することができました。水車の回転の力を自転車の発電機につないで、発電の様子をLEDの点滅で確かめることができるのは、よい工夫ですね。



◆教育長賞

作品名 春夏秋冬田んぼアート

作者 三沢 星南さん(鷹巣小3年)

講評：秋田内陸線の車窓から見える美しい田んぼアートは何度見ても素晴らしい景色です。その景色が絵になって順番に見える工夫がされたとても楽しい作品です。風景と列車の窓が連動しているので列車に乗っている気分を味わうこともできます。



◆学校教育課長賞

作品名 カラフルワニのくつあらい

作者 松尾 航佑さん(鷹巣東小4年)

講評：汚れやすいズックを一度にゴシゴシきれいに洗えるよう、ブラシを折り曲げて複数個取り付けた工夫が素晴らしい。身近な靴ホルダーやブラシを使った材料選びのアイデアもよかったです。表面にワニの形をデザインして楽しくお手伝いできます。



◆審査委員長賞

作品名 地球にやさしい空き缶洗浄機

作者 木村尚太郎さん(合川小5年)

講評：飲み終えた空き缶をリサイクルするために洗う時、水を無駄にせず雨水や風呂の残り湯を活用したい、5個の缶を一気に洗いたいという発想がよい。水漏れしないようコーキングしたことやホースのジョイント部品を見つけたこともよかったです。



- 金賞**
- 戸澤 小春さん(鷹巣小1年)
 - 岩本 大貴さん(鷹巣南小1年)
 - 畠山 煌菜さん(鷹巣南小1年)
 - 中嶋 真凜さん(鷹巣中央小2年)
 - 金野 駿生さん(鷹巣小3年)
 - 金野 超太さん(鷹巣小5年)
 - 佐藤 尚貴さん(綴子小5年)
 - 庄司 凜さん(米内沢小5年)
- 銀賞**
- 原田 泰来さん(鷹巣小1年)
 - 森澤 錬さん(米内沢小1年)
 - 吉田 風香さん(米内沢小1年)
 - 成田 透理さん(鷹巣小2年)
 - 菊地咲貴子さん(鷹巣小2年)
 - 田村 直紀さん(鷹巣東小2年)
 - 和田 聖翔さん(鷹巣小3年)
 - 三浦 杏菜さん(綴子小3年)
 - 小塚 柊汰さん(鷹巣中央小3年)
 - 明石 慶吾さん(鷹巣南小3年)
 - 佐藤 結奈さん(鷹巣南小3年)
 - 安東優希也さん(鷹巣中央小4年)
 - 土佐大志楼さん(米内沢小4年)
 - 武藤 羽皇さん(綴子小5年)
 - 福田 美空さん(鷹巣中央小5年)
 - 篠内 咲磨さん(鷹巣小6年)



▲作品を一つ一つ見て回る児童と家族

▲9月9日に行われた表彰式

「皆さんの作品を見せてもらったが、いろんなところに気付いて素晴らしい作品に仕上がっている。おそらく、夏休み中、自分で考えが付いて頑張った作ってくれたと思う。発明は決して難しいことではなく、小さな気付きが大きな発明につながる。その気持ちを忘れずチャレンジしてほしい」などとあいさつ。

続いて、佐藤教育長が「私たちは生活していると、こんな物があったら便利だな、楽しくなるねと考える

第13回北秋田市発明工夫展が、9月9日・10日に交流センターで開かれ、ユニークな作品や創造力あふれる作品が展示されました。9日には表彰式が行われ、入賞した子どもたち

に表彰状と記念品が手渡されました。

このあと、表彰が行われ、市長賞、議長賞、教育長賞、学校教育課長賞、審査委員長賞の特別賞5点、金賞8点、銀賞16点の入賞者一人一人に表彰状と記念品が贈られました。

嶋田美香審査委員長(鷹巣小学校校長)は、特別賞を受賞した5人の作品について、審査員からの講評を紹介するとともに「審査では、アイデアが形になっていくか、使いやすさを慎重に審査した。インターネットや雑誌などで、発明工夫や自由研究の例は数多くあるが、実際にやってみるということは、また違うと思う。来年も多くの作品が出品されることを楽しみにしています」などと述べました。

第13回 北秋田市発明工夫展